バセドウ病の症状と治療法

# 『あなたはバセドウ病です』と診断された患者さんのために

監修：公立松任石川中央病院　横山邦彦 先生

第4版

病気のことをよく理解して、
あなたにもっとも適した
治療を受けましょう。

PDRファーマ株式会社

# 『あなたはバセドウ病です』と診断された患者さんのために

バセドウ病と聞くと、「とても難しい病気?」や「甲状腺って何?」と考えがちですが、病気をよく理解することから治療の第一歩が始まります。

## まず甲状腺とは?

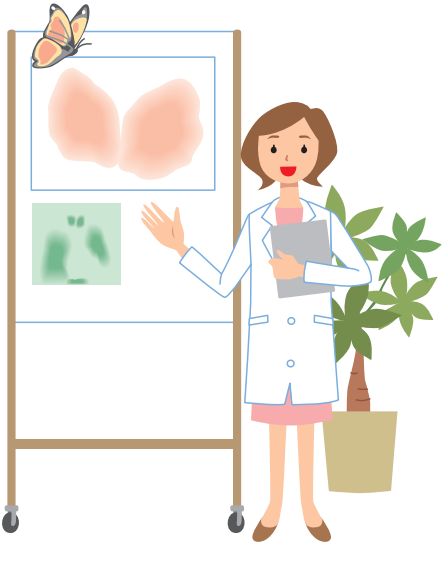
甲状腺は蝶のような形をした小さな臓器で、首のつけね、のどぼとけのやや下にあります。

海藻などの食品に含まれるヨウ素を原料に甲状腺ホルモンを合成して、血液中に分泌します。

## バセドウ病とは?

からだの中に甲状腺を刺激する物質ができることが原因でバセドウ病はおこります。甲状腺ホルモンの産生と分泌が多すぎる状態になります。

この状態が甲状腺機能亢進症です。原因の大半がバセドウ病のため、ほぼ同じ意味で呼ばれています。米国ではグレーブス病と呼ばれます。



## 主な症状は?

汗をかきやすい、疲れやすい、動悸、息切れ、手が震える、脈が早い、首が腫れる、食欲があるのに体重が減る、イライラする、眠れないなどです。

これらの症状は、甲状腺ホルモンが体内に多すぎて、新陳代謝が異常に高まったためにおこります。目が出たり(眼球突出)、まぶたがはれたりすることもあります。

症状の種類や程度には個人差があり、あまり症状のない場合もあります。

## 放っておくと…

激しい運動をずっと続けているのと同じ状態であり、心臓や血管に負担がかかります。その結果として、脈が乱れたり、血圧が上がったりして、心臓のはたらきが悪くなる状態におちいります。

また、生理不順や骨粗鬆症をひきおこすことも知られています。

## さあ 治療を始めましょう…

治療の目的は甲状腺ホルモンが過剰に作られないようにすることです。甲状腺ホルモンの分泌をうまくコントロールすれば、健康なときと変わらない生活ができますし、スポーツや妊娠・出産も大丈夫です。薬物療法、アイソトープ療法、手術療法の3つが標準治療です。

## 3つの治療法

●**薬物療法**：甲状腺ホルモンの産生を下げる薬（抗甲状腺薬など）を長期間服用します。

●**アイソトープ療法**：少量のアイソトープを含んだカプセルを1回服用して、放射線により甲状腺を小さくします。

●**手術療法**：甲状腺を切除します。

| | 良いところ | 良くないところ |
|---|---|---|
| 薬物療法 | ・薬をのむだけで手軽<br>・甲状腺ホルモンが減りすぎることがない | ・副作用がある<br>・治療に長期間かかる<br>・再発が多い |
| | ・定期的に通院できる人、きちんと薬がのめる人、バセドウ病になって間もない人、甲状腺の腫れの小さい人はこの治療に適しています。<br>・薬物療法の副作用に備えて、治療開始2ヶ月間は2週に1回、それ以降も定期的に血液検査が必要です。 | |
| アイソトープ療法 | ・治療期間が短い<br>・再発しにくい<br>・外来で治療可能 | ・治療施設が限られている<br>・甲状腺ホルモンの低下状態<br>・眼球突出が悪化することがある |
| | ・副作用のため薬物療法ができない人、薬物療法で治りにくい人、早く治りたい人、定期的通院が困難な人はこの治療に適しています。<br>・ただし、妊娠中はこの治療を受けることができません。 | |
| 手術療法 | ・治療期間が最短<br>・治療効果が確実<br>・再発がもっとも少ない | ・手術の傷跡が残る<br>・まれに声のかすれがおこる<br>・専門外科医が限られている<br>・甲状腺ホルモンの低下状態 |
| | ・副作用のため薬物療法ができない人、薬物療法で治りにくい人、早く治りたい人、定期的通院が困難な人はこの治療に適しています。 | |

# 治療の流れ

## 薬物療法

●薬を毎日服用し、徐々に減量、休薬を検討していきます。

| 1～3ヶ月後 | 1年半後～ |
|---|---|
| 治療開始2ヶ月間は2週に1回、以降は月に1回程度の診察 | |
| ●甲状腺ホルモンが正常化 | ●薬の服用が止められない場合、他の治療法も検討します。 |

**治療期間中に起こりえる症状**

●皮疹や蕁麻疹、肝障害、腎障害

●無顆粒球症（好中球減少症）※

※頻度は低いですが、命にかかわる重大な副作用です。
白血球の一部が減って、感染症への抵抗力が失われた状態になります。急な発熱やのどの痛み、ひどくなると重症な感染症（肺炎など）になることがあります。

## 手術療法

●甲状腺を全部摘出もしくは少しだけ残します。

※バセドウ病の症状が強い場合は、手術前に薬物治療を行う場合があります。

| 入院（1～2週間）：手術 | 退院後 |
|---|---|
| ●手術時間は3時間ほど<br>●合併症の有無確認とその対応<br>●リハビリを行う場合もあります。 | **定期的な受診**<br>●再発や症状の確認 |
| **主な合併症（多くは一時的です）**<br>●手術部の出血<br>●顔や手足のしびれ<br>●声のかすれ　など | **手術後に起こりえる症状**<br>●甲状腺ホルモンの低下<br>（甲状腺機能低下症） |

## アイソトープ療法

●カプセルを1回飲む治療法です。

治療効果を良くするために、食事のヨウ素制限が必要です。
投与する量を決めるための検査を数日間行うことがあります。

| 治療前 | 治療日 | 治療数日後 |
|---|---|---|
| ヨウ素を含む食品の摂取制限 | | |
| 検査・採血・採尿 | | |
| | カプセルの服用 | |
| | ●治療後数日は、家族や周囲の人々が無用な放射線被ばくをしないように生活上の注意事項を守る必要があります。 | |

| 治療後数ヶ月 | およそ6ヶ月後～ |
|---|---|
| 治療後は、月に1～2回の診察 | |
| ●甲状腺ホルモンが徐々に低下し、甲状腺機能は正常化もしくは低下 | ●治療効果確認（再治療の検討） |

**治療後に起こりえる症状**

●一時的なバセドウ病症状の悪化

●甲状腺ホルモンの低下（甲状腺機能低下症）

2022年3月作成
12203200Z
CAP-4-018